



# 動的画像処理実利用化ワークショップ DIA2025

<http://www.tc-iaip.org/dia/2025/>

開催日：2025年3月5日（水）～3月6日（木）

会場：きらめきみなと館／敦賀市民文化センター（福井県敦賀市）

DIA (Dynamic Image processing for real Application) ワークショップは、マシンビジョン／コンピュータビジョン分野における画像処理の実利用に関わる研究・開発の発表、討議、情報交換の場として、20年にわたり毎年日本各地で開催されてきました。2025年にははじめて福井県で開催いたします。開催地は日本の中心とも言える福井県敦賀市です。ここは太古の昔から近代まで交通の要衝でした。2024年3月には北陸新幹線が延伸されて、始発駅になりました。関東からも関西からも鉄道1本でお越しいただくことができます。また、北海道からもフェリー1本です。

3月初旬は越前蟹もあり、美味しい海の幸も多くあります。近くには年縞博物館があり、7万年分の歴史が刻まれた国際標準のものさしを見ることもできます。このような場所で画像処理の最新技術の情報交換に加え、実利用化の今後を考える有益な機会になるものと確信しております。産・官・学の研究者・技術者をはじめ、画像処理技術の実利用化に関心を持つ多くの方の積極的なご参加を期待しております。

次のご発表を募集いたします。多数のご応募とご参加をお待ちしております。

- ◆「インタラクティブセッション」：参加者と1対1での対話形式での発表
- ◆「オーラルセッション」：会場における口頭形式での発表
- ◆「機器デモ展示」：その場でシステムの動作の様子や効果をアピール

なお、若手研究者による優秀な発表には研究奨励賞を授与いたします。前日の3月4日（火）午後には見学会や交流会の企画を検討中です。2日目3月6日（木）午後には、年縞博物館への見学会を計画中です。



きらめきみなと館



北陸新幹線



越前蟹



赤レンガ博物館



7万年のものさし

## スコープ：

- ◆ 画像応用システム（FA、セキュリティ、防災、ITS、農業、医療、環境等）
- ◆ 画像理解、物体認識、シーン解析、ロボットビジョン、三次元画像計測
- ◆ パターン認識、学習アルゴリズム、統計的手法、モデリング、進化したシステム
- ◆ 画像照合、画像検索、映像分析、メディア理解、コンテンツ生成
- ◆ イメージセンサ、画像デバイス、画像処理プロセッサ、センサ統合、多波長センシング
- ◆ ヒューマン・マシン・インタラクション、VR、AR、MR、感性情報処理、情報提示

（※ 本スコープに限らず、画像処理技術の実利用化に関する幅広い分野の論文を募集しております。）

講演申込：2024年12月6日（金）

ホームページよりオンラインでお申し込み下さい。ID取得後、2ページ程度の講演概要をご提出下さい。

原稿提出：2025年1月17日（金）

参加申込：ホームページよりオンラインでお申し込み下さい。（<https://www.tc-iaip.org/dia/2025/>）

機器デモ展示：2025年1月17日（金）、企業広告：2月7日（金）詳細はホームページまたは下記問い合わせ先まで。

主催：公益社団法人 精密工学会 画像応用技術専門委員会

実行委員会：藤垣 元治（福井大学；委員長）

プログラム委員会：小室 孝（埼玉大学；委員長）

問い合わせ：アドコム・メディア（株）内 画像応用技術専門委員会事務局 DIA2025 係

（TEL：03-3367-0571, FAX：03-3368-1519, E-mail：[iaip@adcom-media.co.jp](mailto:iaip@adcom-media.co.jp)）

